

食の安心に関するアンケート調査を行った。

調査日 平成17年9月13日より9月26日までの間

調査方法 店頭にて買い物に見えたお客様に聞き取り調査をした。

調査対象 マルミヤ三重店 9月13日 51名 ・ 新鮮市場三重店 9月17日 50名
サンライフ植田店 9月26日 50名 ・ サンライフAPPLE店 9月26日 53名

調査機関 新規就農者研究会 アグレッッシュ 会長 栗田洋蔵

アンケート内容

- 1 性別
1. 男 2. 女
- 2 年代
1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代
- 3 同居家族は何名ですか？
1. 1名 2. 2名 3. 3名 4. 4名 5. 5名 6. 6名以上
- 4 食の安心に関心がありますか？
1. 大いにある 2. ある 3. ない 4. まったくない
- 5 通常お買いいただいている食材は安全だと確認して購入しますか？
1. 安全を確認した 2. 少しは確認した 3. あまり確認していない 4. まったく確認していない
- 6 安全の確認方法を教えてください。
1. 購入店を信頼している 2. 表示を信頼している 3. 生産者(製造者)を信頼している
4. 気にしない
- 7 安全にはコストを評価しますか？
1. 安全安心なものは高くても購入する 2. 2割くらい高いのなら購入してもよい
3. 同じ値段なら購入する 4. 高ければ購入しない
- 8 どの店舗で購入しても国産品は安全だと思いますか？
1. 絶対安全 2. かなり安全 3. あまり安全でない 4. 安全でない 5. わからない
- 9 どの店舗で購入しても外国製品(輸入食品)は安全だと思いますか？
1. 絶対安全 2. かなり安全 3. あまり安全でない 4. 安全でない 5. わからない
- 10 有機肥料と聞くと安全性をどう思いますか？
1. 絶対安全 2. かなり安全 3. あまり安全でない 4. 安全でない 5. わからない
- 11 化学肥料と聞くと安全性をどう思いますか？
1. 絶対安全 2. かなり安全 3. あまり安全でない 4. 安全でない 5. わからない
- 12 農薬を正しく使用して栽培した野菜や果実は安全だと思いますか？
1. 絶対安全 2. かなり安全 3. あまり安全でない 4. 安全でない 5. わからない
- 13 化学肥料や農薬を正しく使用しても安全だと思わないのはなぜですか？
1. 使用の実態が明らかでないから 2. 化学物質だから
3. 説明がよくなされていないのでわからないから 4. よくわからないが怖いといわれたから
- 14 「トレーサビリティ」や「栽培履歴」という言葉を聞いたことがありますか？
1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたこともない
- 15 「エコファーマ」という認定制度を聞いたことがありますか？
1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたこともない
- 16 より安心して食材を購入するために農家に求めるものはどんなことですか？
1. 栽培情報を提示してほしい 2. 認定制度を充実してほしい 3. 生産者を知りたい
4. 農協など生産組織がしっかり管理してほしい 5. 現状で気に入らない
- 17 食料自給率が40%くらいだと聞いたことがありますか？
1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 聞いたこともない

総合所見

昨年に続き2度目の調査で、今年は量販店のご協力を頂き、店頭にて買い物に見えたお客様に直接面接方式で回答をいただいた。調査対象は圧倒的に女性が多く、幅広い年代層にお答えをいただいた。

さて、食の安全に対する関心は昨年同様95%以上の方が関心があると回答いただいた。そして食材の購入も安全を確認すると83%が答えている。その確認方法も6割の人が表示を確認している。信頼を裏切らないように正しい表示を励行せねばならない。また、2割の人は販売店を信頼しているとしており、地域に根付いた量販店のあり方を実感した。一方生産者名と答えた多くの人が、野菜は、直売所もしくは直売コーナーで購入するとのことである。

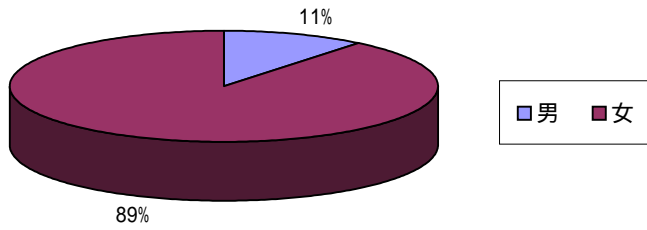
また、安全に関するコストの評価であるが、ほぼ半数の人が2割程度を許容範囲としていることが分る。高くても購入すると答えた方の多くは、生協を利用しているようである。国産品の信頼度は58%の方がほぼ安心と答えてくれたが、37%は不信感を持っている。栽培を預かるものとしては、謙虚に受け止めるべきであろう。輸入品に関しては大多数の人が不信感を持っている。

昨今、有機栽培がもてはやされているが、有機肥料の安全性を聞いたところ20%の方が不信感を持っているのが気になる。化学肥料は聞いたことがあるが、有機肥料という表現に馴染みがないかもしれない。一方化学肥料と聞くと74%の方が不信感を抱いている。根本的に、正しい使い方をすれば肥料で直接安全にかかわることはないのだが、減化学肥料の歌声に惑わされているようだ。国際的には、有機だ無機だと区別することではなく、わが国だけ特異なぬじれ現象を起こしていることを、正しく消費者の皆様には知らせる必要があると感じる。このような中でも「正しく」農薬を使う分に関しては43%に人が安全と感じている。これは、化学肥料・農薬の不安の項目に回答があるように、使用実態が明確にされれば不安が解消されることであろう。すなわち「説明責任」ではなからうか？

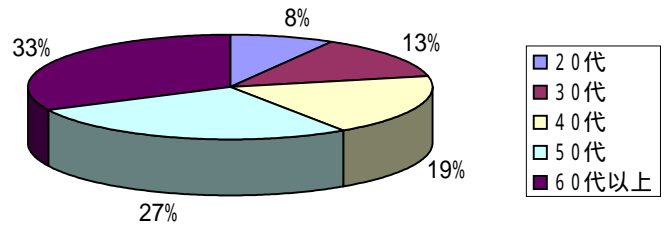
次に、トレーサビリティやエコファーマなどの言葉であるが、実に多くの方が聞いてこともないと答えている。今農業界で大騒ぎして多額の資金や労力を費やしていることは、消費者に受け入れられてない証ではなからうか。もっと農業者は消費者に近い立場に立ち共に話し協力し合って前は進まなければ、この乖離は続くのではあるまいか？顔の見える何がしかとって、顔写真を貼り付けるだけの安易な手法をとり続けてはいけないのだと思う。

その上、農業政策の根本をなす食料自給率の認知度の無さも真摯に受け止め、農業の必要性を丁寧に説く必要がある。文責 栗田

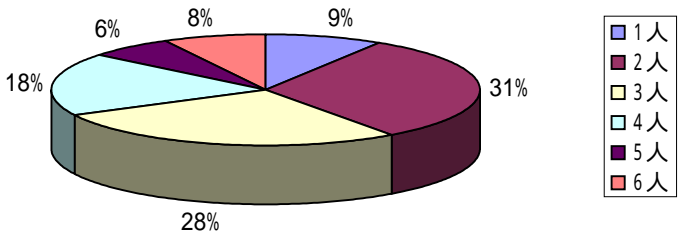
1. 性別



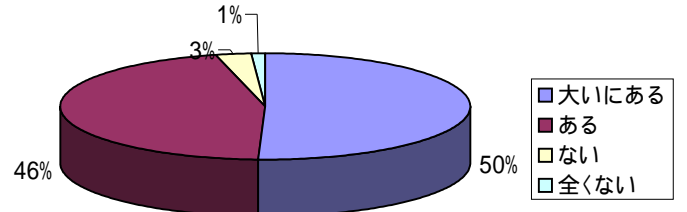
2. 年代



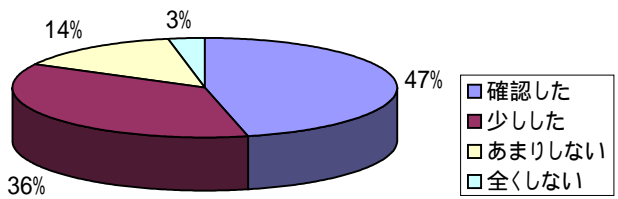
3. 家族構成



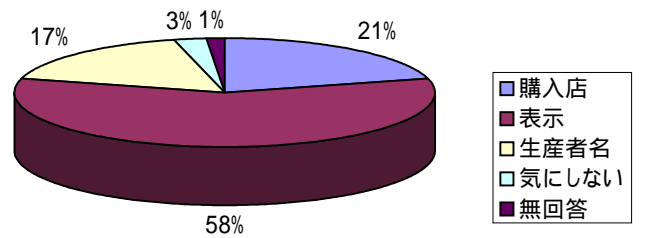
4. 食の安全に関心



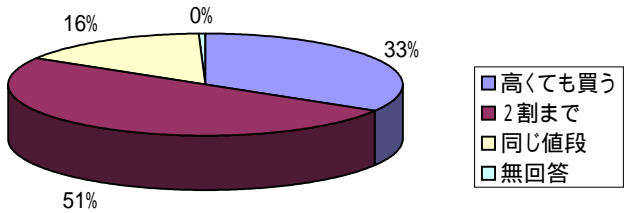
5. 確認して購入



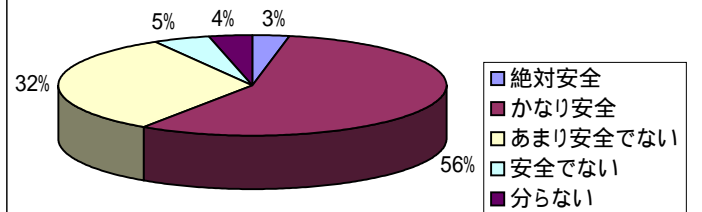
6. 確認方法



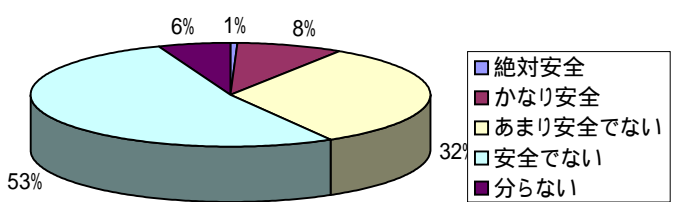
7. 安全の価格



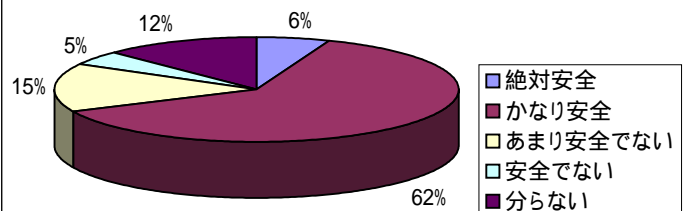
8. 国産品の信頼



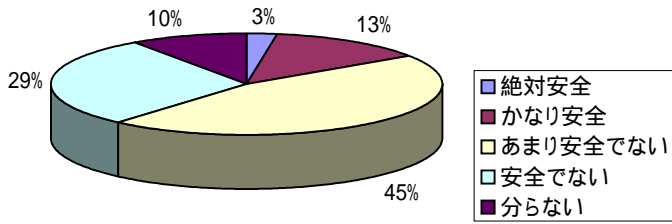
9. 輸入品の信頼



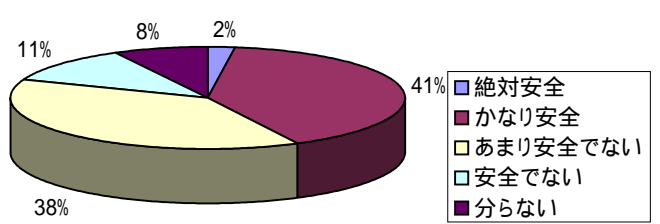
10. 有機肥料の信頼



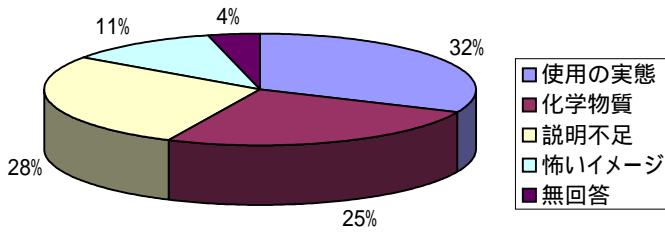
11. 化学肥料の信頼



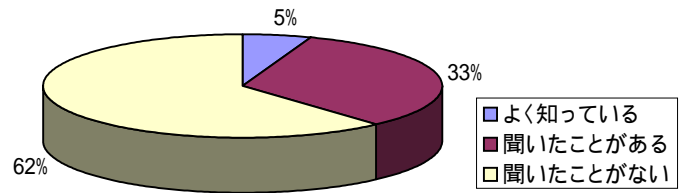
12. 農薬使用の安心



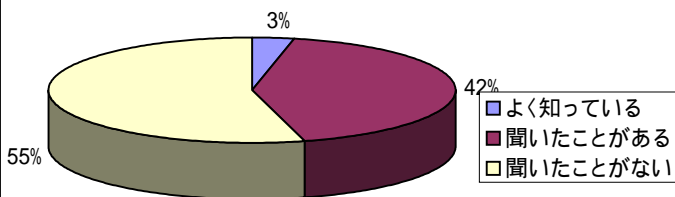
13. 化学肥料・農薬の不安



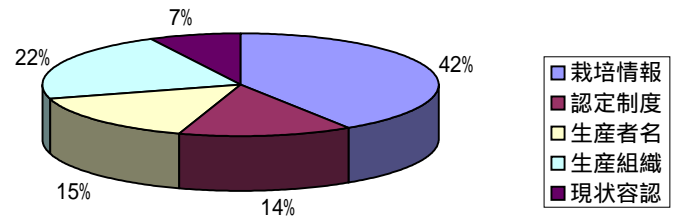
14. トレーサビリティーの認知



15. エコファーマーの認知



16. 農家に求めるもの



17. 食料自給率の認知

